

2022 年度研究助成プログラム
共同研究助成

募 集 要 項

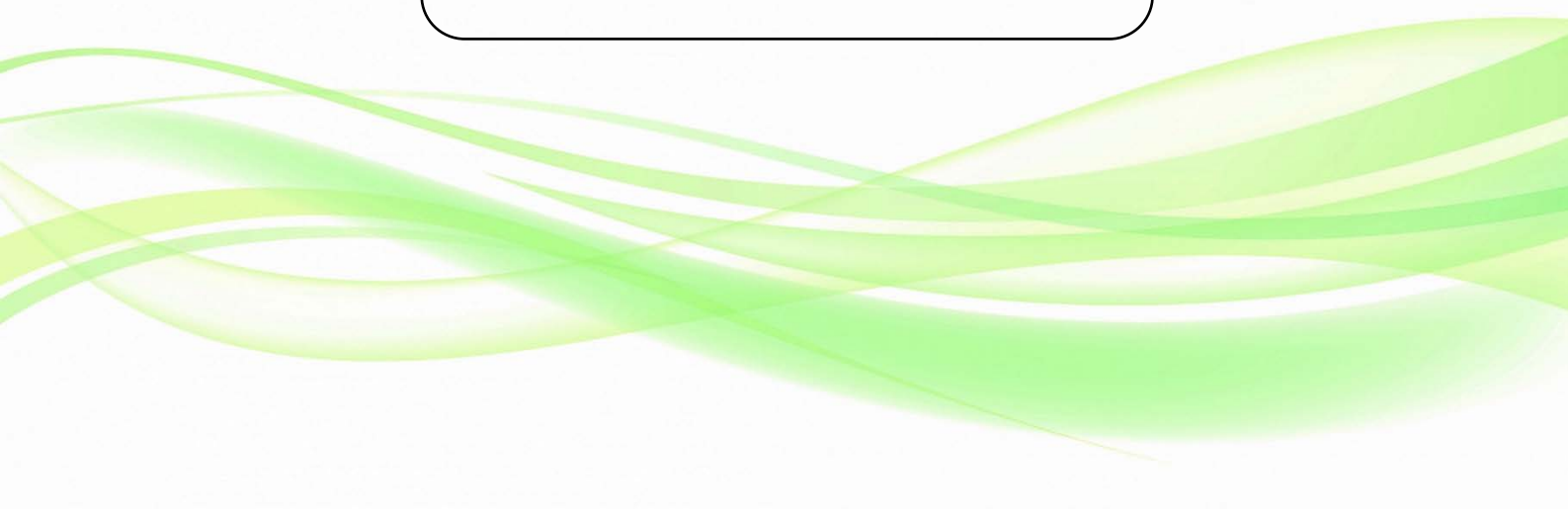
つながりがデザインする未来の社会システム
ニューノーマル時代に再考する社会課題と新しい連帯に向けて

募集期間 2022 年 4 月 4 日（月）～ 2022 年 6 月 10 日（金）15 時（日本時間）



トヨタ財団の助成の基本的な考え方

トヨタ財団は下記の点を満たすものを助成の対象とします。

1. 社会的な意義が大きいこと
 2. 内外の課題を先取りするものであること
 3. 未来志向であること
 4. 持続可能性、発展可能性があること
 5. 波及効果が期待されること
- 

目次

1. プログラムの趣旨	1
2. 助成の枠組み	2
助成期間	
助成金額	
助成の対象	
3. 応募について	3
応募期間	
応募言語	
応募方法	
事前相談・説明会	
応募にあたっての注意事項	
4. 選考について	4
選考方法	
選考基準	
選考結果	
5. 応募から助成終了までの流れ	5
6. その他	6
個人情報の取り扱いについて	
著作権について	

1. プログラムの趣旨

未曾有の事態となった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的蔓延による影響が続くなか、これを契機として、これまでの社会の在り方を問い直し、「ニューノーマル」へと歩み出そうとする動きが広がっています。デジタル技術を活用したオンライン授業やテレワークなどは身近な例であり、そうした新しい生活様式に向けた人と人との新たな「つながり」がはじまりつつあります。

COVID-19 との対峙は、私たちが人と人のかかわりを超えた自然、あるいはモノや技術に囲まれていることを、まざまざと感じさせるものでもありました。これまでの社会システムや自然環境とのかかわりを問い、「人新世」など新しい認識に基づいた議論も盛んに展開されています。COVID-19 によって浮き彫りとなった課題と向き合い、新しい社会を創造していくためには、小手先の改革ではなく、これまでの認識や生活様式、社会システムを作りかえるような変革が必要とされます。既存の考えや視点を超えて、人と人、人と自然、人とモノ・技術を始めとする様々な関係性(つながり)に着目した課題に挑戦し、新たな未来をデザインすることが求められています。そして、そうした変革を推進し、希望に満ちた未来社会を創造するためには、次世代を担う若手の研究者が、柔軟で新規性に溢れた発想に基づく研究活動を活発に展開し、様々な課題に挑戦し豊かな成果を挙げるのが重要です。

こうした問題意識から、トヨタ財団研究助成プログラムでは、昨年度（2021 年度）より「つながりがデザインする未来の社会システム：ニューノーマル時代に再考する社会課題と新しい連帯に向けて」をテーマに、若手研究者が中心となり実施する研究プロジェクトを支援しています。既存の枠組みにとらわれず、自由な発想のもと、野心的に社会システムの変革に取り組もうとするプロジェクトを募集します。得られた研究成果は、学術の枠を超えて、社会に向けて意欲的に発信されることを期待します。

※本助成プログラムにおいて「研究者」とは、大学・研究機関に所属する研究者に限定せず、研究活動に取り組むさまざまな個人と定義します。また、本助成プログラムでは学術的枠組みを超えて実践を取り入れる研究活動を推奨していますが、実践そのものを目的とするのではなく、その先を見据えた問題の提起や解決法の提案、現象の理論化などを求めます。実践や実装を目的としたプロジェクトについては、国内助成プログラムへの応募をご検討ください。詳しくは、財団担当者にご相談ください。

2. 助成の枠組み

◆ 助成期間

2022年10月1日～2024年9月30日（2年間）

◆ 助成金額

助成金額総額：5,000万円

助成金額上限：800万円/件

- 企画書記載の「費目一覧」を参照し、対象となる範囲をご確認ください。なお、助成対象プロジェクトに直接的にかかわらない費用、組織・団体の一般管理費（オーバーヘッド）は予算として認められません。ただし、プロジェクトを運営する上で必要不可欠な作業にかかわる人件費については、謝金として予算に含めることが可能です。
- 必要な経費のみを積算して予算計画を立てるようにしてください。予算の妥当性は選考の重要な要素となります。

◆ 助成の対象

- (1) 2名以上による共同研究プロジェクトであること。
- (2) 代表者は45歳以下（助成開始時）で、且つ主たる居住地が日本国内であること。
 - 代表者以外のプロジェクトメンバーについては、年齢や居住地に制限はありません。なお、代表者を含むすべてのプロジェクトメンバーについて、国籍・学歴/経歴・所属等の制限はありません。本助成プログラムは、大学・研究機関の研究者に限らず、実務家や NGO/NPO で活躍される市民、在野の研究者など、さまざまな人びとによる応募を歓迎します。
 - 助成期間中、助成対象者（代表者）は財団担当者と密にコミュニケーションを取ることが求められます。
- (3) ニューノーマル時代において再考すべき社会課題の明確な考えを有し、それを踏まえて、社会システムの変革に向けた研究活動に取り組む具体的な計画があること。また、研究成果を広く社会に向けて発信する意欲があること。
 - 研究活動における試行錯誤、また意図せぬ展開などを尊重します。ただし、研究のみで終わることなく、その成果を広く社会で共有・実現するための具体的な方法まで視野に入れていることを求めます。とくに、政策提言やモデルの構築、あるいはプラットフォーム/ネットワークの形成などによる社会還元を重視します。

3. 応募について

◆ 応募期間

2022年4月4日（月）～2022年6月10日（金）15時（日本時間）

* 応募期間後のお問い合わせには対応しかねますのでご了承ください。

◆ 応募言語

日本語または英語

◆ 応募方法

以下のプロセスをご参照の上、トヨタ財団ウェブサイト上の研究助成プログラムのページ (<https://www.toyotafound.or.jp/research/2022/>) よりご応募ください。

応募者情報の登録	「研究助成プログラム」の「2022年度」ページ内にある【応募の受付はこちら】よりウェブ応募ページに進み、応募者情報の登録を行ってください。
応募書類の作成	ご登録いただいた電子メールアドレス宛に応募者専用ページの URL が送信されます。「基本情報」（Excel）および「企画書」（Word）の書式をダウンロードし、必要事項を記入して、応募書類を作成してください。
応募書類の提出	応募者専用ページより、基本情報および企画書を送信（アップロード）してください。ご登録いただいた電子メールアドレス宛に、応募完了の通知を送信します。通知が届いていない場合は事務局まで速やかにお問い合わせください。

◆ 事前相談・説明会

応募にあたって、当財団の担当プログラムオフィサーに事前相談をすることができます。ご希望の方は、コンセプトノート（書式自由 A4, 1-2 枚程度）をご用意の上、電子メールにてお問合せください。事前相談は、**2022年5月27日（金）まで**とします。

また、公募期間中、オンラインで説明会を開催します。日時や申込方法などは、決定次第ウェブサイトに掲載します。

◆ 応募にあたっての注意事項

- ・ **電子メール、郵送、ご来所、FAX による応募は受け付けておりません。**
- ・ **基本情報および企画書の差し替えは受け付けられません**ので、送信前に必ずご確認ください。また、送信した基本情報および企画書のデータは、選考結果が通知されるまで必ず保管ください。
- ・ 応募書類を提出いただく際に、基本情報および企画書以外の資料は不要です。

- ・ ご提出いただきました応募書類等についてはお返しできませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ 応募締め切り(2022年6月10日(金)15時)の直前は、**回線が混雑し送信できない可能性**がありますので、お早めにご応募ください。
- ・ 応募書類の記載に虚偽または重大な誤りがあった場合、助成を取り消すことがあります。

4. 選考について

◆ 選考方法

助成の可否については、外部有識者により構成される当財団「研究助成プログラム選考委員会」(中西寛委員長・京都大学大学院法学研究科教授)で選考を行った上で、2022年9月に開催される当財団理事会で決定される予定です。選考の過程では、必要に応じ、企画書の内容に関するヒアリング調査への協力をお願いすることがあります。

◆ 選考基準

- (1) 応募内容が、「トヨタ財団の助成の基本的な考え方」および、プログラムの趣旨と要件に合致しているか。
- (2) 実施内容と想定される成果の見通しが妥当且つ適切であるか。
- (3) プロジェクトチームが多様な人びとによって構成され、円滑な実施と波及効果が期待できるか。

◆ 選考結果

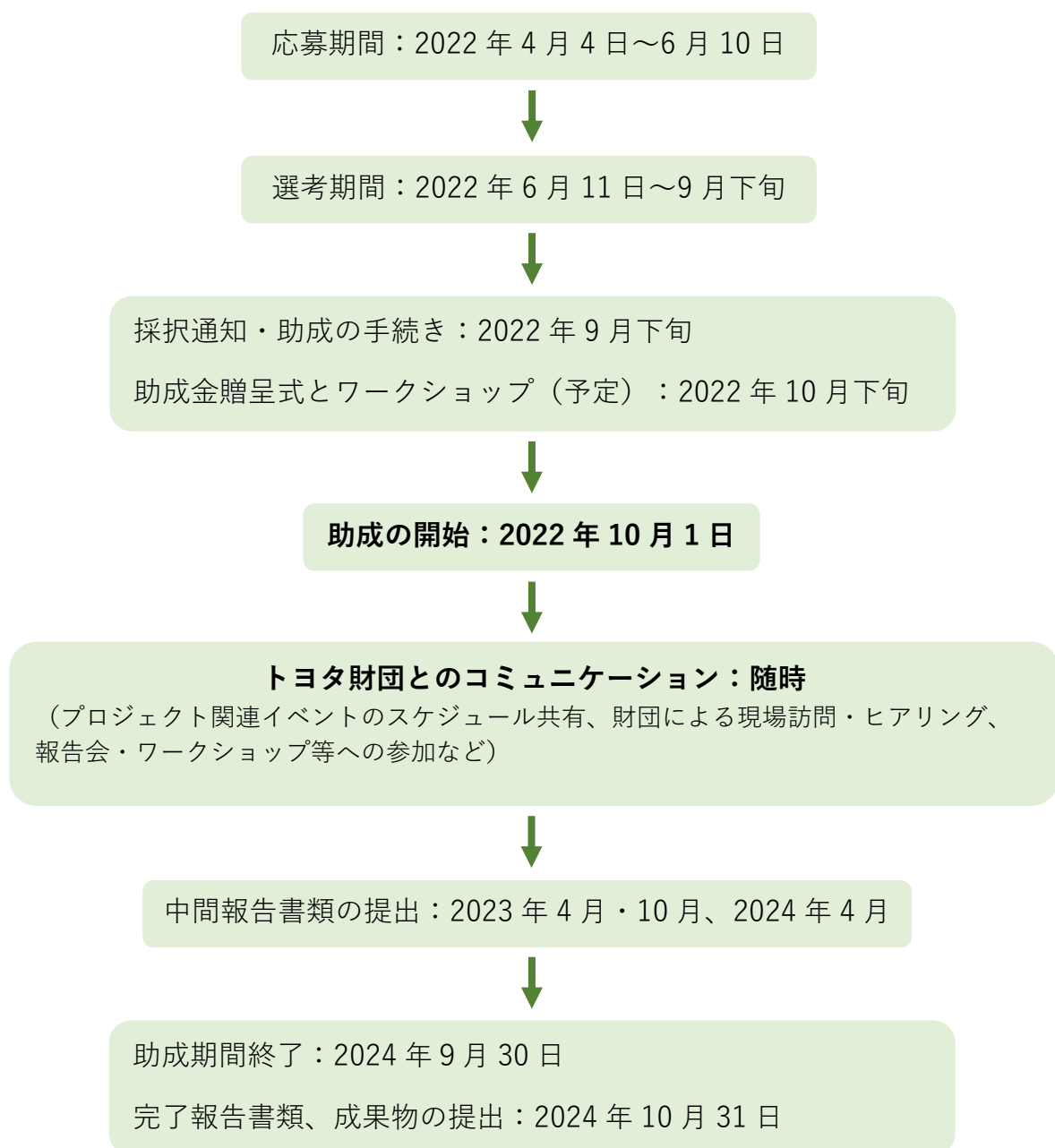
選考結果については、2022年9月下旬頃に応募時に登録していただいた電子メールアドレス宛てにお知らせいたします。電子メールが届かない場合、お手数ですが、当財団までお問い合わせください。

* 採否の理由等、選考に関わる内容に対してのお問い合わせには一切応じかねますので、あらかじめご了承ください。

5. 応募から助成終了までの流れ

助成対象者は、定期的な報告に加え、当財団の担当者と密にコミュニケーションを取りながらプロジェクトを進めることが求められます。また、財団が主催/共催する研究会・報告会などにご参加いただくようお願いいたします。

応募から助成決定、助成期間終了までに必要な事項とその時期は、以下のとおりです。助成期間終了後も 2～3 年を目途に、当財団の助成の質を上げ、プログラムの改善などを行う目的で報告をお願いすることがありますので、その際にご協力をお願いします。



6. その他

◆ 個人情報の取り扱いについて

応募書類から得た応募者の個人情報は、選考・審査および統計資料作成、本人への連絡等事務作業に使用します。また、法令で認める場合を除き、本人の同意なく上記目的以外に使用することはありません。

◆ 著作権について

本プロジェクトを実施した結果作成された成果物の著作権は全て助成対象者に帰属します。ただし、助成対象者の同意を得られた場合には、提出された報告書またはその内容の一部をもとに、トヨタ財団が成果をとりまとめた出版物等を作成することがあります。

【ご参考】トヨタ財団の他プログラム（2022年度）のご紹介

- ・国内助成プログラム
- ・国際助成プログラム
- ・特定課題「先端技術と共創する新たな人間社会」
- ・特定課題「外国人材の受け入れと日本社会」

*各プログラムについての最新情報は、トヨタ財団ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.toyotafound.or.jp/>



お問い合わせ先

公益財団法人トヨタ財団
研究助成プログラム 担当：加藤、寺崎、加賀、林
Email: kenj@toyotafound.or.jp
TEL：03-3344-1701

※在宅勤務併用中につき、電話でのお問い合わせに対応できない場合があります。
ご連絡はできる限り電子メールでお願いします。

